



こくろうよなご

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



部の植田委員長、米子地方本部の倉下委員長が「安全の誓い」を述べ、その後、式典の参列者全員による献花を行い、「伯備線事故の反省と教訓を継承し、安全・安心なJR職場を作るために、日々奮闘していく」決意を新たにしてきました。

伯備線事故を前に、今年も各職場でも研修が行われましたが、今回初めて耳する話もあり、「20年経過しても実はまだまだ知らないことがある」と感じました。

伯備線事故により失われたものはなにか、

組合員の高年齢化が進み、自身の健康の話はもとより、親の介護の苦労話を聞く機会も増えたような気がしている。だんだんと手が離れていく育児とはまた違つて、場合については年々負担が大きくなる介護は、身体的にばかりで

いは熱く!

介護を巡つて不幸な事件も後を絶たない。介護離職が社会的な課題となり、育児・介護にかかる法律・会社の制度も何度も改正されている。

だれもが何時経験するやもしない介護問題、皆が自分毎として考えたい。

事務所と連携を図りながら、最大限の取り組みを行うことを意思統一してきました。

皆さんご承知のように、1月19日の記者会見にて高市首相が、「1月23日の国会の開幕に合わせ解散する」とことを宣言、1月27日告示・2月8日の日

会議に先立ち倉下委員長より「報道などで言われているように国会冒頭での解散なら、物価高で苦しい生活を余儀なくされている国民への背信行為であると言わざるを得ない。放漫財政と台湾有事を巡る発言・非核3原則の見直しへの言及など維新と組んだ高市政権の右傾化に歯止めが掛からない。一方、総選挙を前に立憲民主党と

組合員の高年齢化が進み、自身の健康の話はもとより、親の介護の苦労話を聞く機会も増えたような気がしている。だんだんと手が離れていく育児とはまた違つて、場合については年々負担が大きくなる介護は、身体的にばかりでない。このようないくつもの問題が、島根県第一選挙区では亀井亜紀子氏○島根県第二選挙区では大塚聰子氏○鳥取県第二選挙区では湯原俊二氏の推薦を決定した。議論の機会が殆どとれず、組合員の中に多少なからず戸惑いもあると思うが、高市自維連立政権の過半数獲得を絶対に阻止するために全力で闘いぬこう」と挨拶がありました。

その後、島根・鳥取両県の選挙情勢についての認識の一一致を図り倉下選対委員長をはじめとした選挙対策委員会の発足を確認し、各地区に設けられる選挙

きもあると察する。
介護を巡って不幸な事件も後を絶たない。介護離職が社会的な課題となり、育児・介護にかかる法律・会社の制度も何度も改正されている。
だれもが何時経験するやもしない介護問題、皆が自分毎として考えあいたい。

皆さんご承知のように、1月19日の記者会見にて高市首相が、「1月23日の国会の開幕に合わせ解散する」ことを宣言、1月27日告示・2月8日の日程にて衆議院選挙が実施をされることになりました。

記者会見をテレビで見ましたが、「自分自身への信任を確かめたい」「高市政権の進める政治への白紙委任を迫る」まさに、党利党略によるものでしかなく、万が一にでも自民党が勝利することにでもなればと考へると、そら恐ろしい気もします。

戦後最短・真冬の選挙戦、思いは熱く!全機関・全組合員の総決起を要請します。